

# 令和 4 年度 沼津市自転車活用推進協議会

沼津市自転車活用推進計画における  
令和 4 年度実績及び令和 5 年度の取組について

# 1. 【Plan】 沼津市自転車活用推進計画が目指す姿

## 【本計画策定の背景】

- ・本市は豊かな地域資源に恵まれ、さらにはサイクリングに適した自然環境を有している。
- ・市街地部では、自転車利用に適した平坦である特性を活かし、これまで自転車に関する様々な取り組みや自転車利用環境の整備等を継続し、進めてきた。
- ・一方、今後さらなる通行空間の整備、自転車の通行ルールやマナー浸透不足に伴う自転車関連事故、多様な環境づくり等解決すべき課題がある。
- ・このため、自転車政策を総合的に展開していくことを目的とし、沼津市自転車活用推進計画を策定した。

## 沼津市自転車活用推進計画策定

(令和3年3月策定)

【基本方針】「住みたいまち、行きたいまち。」

～自転車利用環境の向上により、選ばれるまちへ～

【計画期間】

**10カ年（令和3年4月～令和12年3月）**

本市における自転車に関わる課題の解決施策パッケージ  
”プロジェクト6”の事業期間を10年に設定

## 【計画目標】

- ① 自転車利用環境の充実による安全性の確保
- ② 移動の利便性向上による過度な自動車への依存の低減
- ③ 自転車の活用による健康の増進
- ④ サイクルツーリズムの推進による交流人口の拡大

I. 自転車通行空間整備推進プロジェクト

II. 自転車安全利用促進プロジェクト

III. 良好な都市環境の形成プロジェクト

IV. ヒト中心のまちづくり連携プロジェクト

V. おでかけサイクリングプロジェクト

VI. 魅力的なサイクリング、  
サイクルツーリズム創出プロジェクト

自転車を活用した  
ライフスタイルの浸透

自転車文化の醸成

## 【自転車に関わる現状・課題と対応の方向性】

課題1 安全・安心

安全安心な自転車通行空間の整備推進、  
ルール・マナーの周知徹底

課題2 都市環境

多様な移動手段の確保と利便性向上、  
まちづくりと一体となった駐輪場等の包括的なマネジメント

課題3 健康・運動

日常生活における自転車利用の意識の醸成ときっかけづくり

課題4 観光振興

サイクリストの受入環境の整備、地域資源を活用した仕掛けづくり、  
県のモデルルート等を活かした広域的な連携



自転車文化とは・・・  
日常の移動の中で、自転車交通手段のひとつとして利用され、  
まちに溶け込み、安全に安心して楽しく利用できること。  
加えて、自転車の活用について、多面的に理解されていること。



## 沼津市自転車活用推進計画の目標を達成するための事業実施（令和4年度）※再掲は除く

プロジェクト	No	措置内容	実施有無	実施内容・未実施理由	考察・今後の取組み
I 自転車通行空間整備推進	1	沼津市自転車ネットワーク計画等に基づく自転車通行空間の整備	○	自転車通行空間の整備（2.87 km）	西条千本線にて整備予定。
	2	自転車を利用しやすい環境の整備	○	自転車通行空間の整備と併せ、ピクトグラム等の路面標示を実施した。	自転車通行空間の整備と併せ、必要なサインを設置予定。
	3	自転車通行空間の適正な維持管理	○	舗装修繕や樹枝の選定等適宜実施。	令和4年度に引続き適宜実施。
	4	自転車通行空間上の違法駐車取締りの推進	○	違法駐車防止のため、広報啓発活動を72回実施（1月に6回）。	令和4年度に引続き72回実施予定。
	5	ゾーン30や狭さく等による安全対策の実施	○	<b>花園地区においては交差点ハンプを、大塚地区においてはスムーズ横断歩道を設置。</b>	<b>ゾーン30プラスの新たな指定地の検討を実施予定。</b>
	6	無電柱化と合わせた自転車通行空間の整備	○	都市計画道路にて順次実施中。	令和4年度に引続き整備を実施。
II 自転車安全利用促進	7	世代に応じた交通安全教室の開催	○	「交通安全リーダーと語る会」（小学校）や「自転車マナー向上対策」（中学校）といった交通安全教室を実施。	令和5年度においても引続き交通安全教室を実施。
	8	自動車との共存に向けた相互理解の促進	○	静岡県交通安全協会沼津地区支部や黄瀬川自動車学校と協力し、ドライバーに対し講習を実施。	令和5年度も引続き協力し、講習を実施。
	9	沼津市高校生自転車マナー向上委員会による自転車マナー啓発活動の推進	○	委員会と協力し、1か月に1回早朝または夕方に街灯指導・広報を実施。	令和5年度も引続き実施予定。
	10	自転車の走りやすさや安全性に関するマップの作成と発信	○	<b>市内小学校の危険マップの作成、および点検結果を踏まえた修理等の実施。</b>	<b>過年度に実施した対策箇所の効果の把握と検証。また、引続き市内小学校区の危険箇所を点検し、安全対策の検討及び改善策の実施。</b>
	11	市役所職員の自転車の交通に対するモラルの向上	○	所属長より月初に交通マナーの注意喚起を実施。	今年度は市民より職員交通モラルに対する苦情がなかった。
	12	5月の自転車月間における自転車利用の啓発促進	○	広報ぬまづにおいて「自転車月間」の周知を行い、5月20日に街頭指導も実施した。	令和5年度においても、広報ぬまづにて自転車利用促進にかかる内容を掲載予定。
	13	自転車点検実施の推進	○	自転車軽自動車商業協同組合沼津駿東支部と協力し、無料で点検の実施。	令和5年度も引続き無料で点検を実施予定。
	14	自転車ヘルメット着用の広報啓発	○	交通安全教室、市HP、SNS、ラクーン大型モニター等にてヘルメット着用義務化について周知及び啓発。	令和5年度も引続き周知及び啓発を進める。
	15	自転車損害賠償責任保険の加入促進	○	自転車保険加入促進のチラシを市内自転車店で配布を行った。	令和5年度も引続き市のHP、SNS等により周知を図っていく。

## 2. 【Do】 目標達成に向けた取組一覧表 【目標2～目標4】

### 沼津市自転車活用推進計画の目標を達成するための事業実施（令和4年度）※再掲は除く

プロジェクト	No	措置内容	実施有無	実施内容・未実施理由	考察・今後の取組み
Ⅲ良好な都市環境の形成	16	自転車と公共交通の相互利用の利便性向上	○	令和3年度に引続き大平小山バス停にサイクル&バスライドを設置。	新たなサイクル&バスライドの候補地を検討。
	17	公共用地・民地・鉄道駅等へのシェアサイクルやレンタルサイクルポートの設置検討	○	<b>市内のシェアサイクルポート設備増設に関する補助要綱を定め、補助を実施予定。</b>	<b>事業者とともに新規ポート設置箇所の検討・土地所有者への協議を実施予定。</b>
	18	駐輪場の運営管理及び放置禁止区域の見直し	○	自転車等駐車場内の防犯カメラ更新を実施。	原駅自転車等駐車場の拡幅工事を実施予定。
	19	市民に対するエコ通勤の呼びかけや事業者における自転車通勤制度導入に向けた働きかけ	○	企業向け情報メールを活用し、エコ通勤にかかる周知を行った。	企業向け情報メールのみならずSNSも活用し、自動車から自転車への転換を啓発していく。
	20	市役所職員の近隣公務における公用自転車の利用促進	○	窓口にて近隣公務での自転車利用を促進。	今年度は天候に影響を受け、自転車利用は減少。
Ⅳヒト中心のまちづくり連携	21	まちなか及び周辺地域資源を徒歩・自転車・公共交通で訪れてもらう取り組みの検討	○	駐車場の可視化と合わせたシームレスな移動手段の情報提供等について、事業者と検討を行う。	各事業者との検討を進め、事業実施に結び付けたい。
	22	沼津市中心市街地まちづくり戦略と連動した自転車通行空間の検討と駐輪場の配置検討	○	公共空間再編整備計画の取組みの中で、自転車専用通行帯の設置を定めた。	引続き、有識者や事業者と協議を進めていく。
	23	移動が楽しめる新たなモビリティツールの活用検討	○	<b>電動キックボードを活用した社会実験を実施。</b>	<b>沼津市と電動キックボードとの親和性の高さを認識することが出来た。</b>
Ⅴおでかけサイクリング	24	ぬまづ健康マイレージをツールとした自転車利用の促進	○	リーフレットにて自転車利用を促進。	引続き、健康面から利用促進を図っていく。
	25	市役所職員の率先した自転車通勤・自転車移動の促進	○	庁内メールにて自転車利用を促進。	令和5年度も引続き取組みを続けていく。
	26	自転車の魅力、楽しさ、健康効果の周知啓発およびイベント・講習会の実施	○	<b>サイクリングキャンペーン「#ぬまチャリ」の実施。</b>	<b>新たな切り口により、規模を拡充して実施していく。</b>
	27	地域の自転車クラブの創設促進	○	<b>元日本チャンピオンによるイベントの実施。</b>	<b>ニーズに応じたサイクルイベントを展開していく。</b>
Ⅵ魅力的なサイクリング、サイクルツーリズム創出	28	広域連携によるサイクルルートのブランド化の推進	○	アプリを活用した周遊イベント「かのいち」を開催。	令和5年度においても引続き、広域連携による取り組みを行っていく。
	29	地域資源を活かした多彩なサイクルコース・観光プランの造成による誘客の促進	○	<b>狩野川沿いの歴史・観光資源をめぐる観光プランの造成。</b>	<b>次なる効果的なプランの造成に努めていく。</b>
	30	サイクル拠点の整備促進	—	新たな環境整備の開拓ができなかったため。	関係者との調整を進めていく。
	31	官民連携によるサイクリスト受入環境の向上	○	サイクルイベントの展開に合わせ、バイシクルピットの増設を行った。	民間事業者と連携した取り組みを進めていく。
	32	情報発信ツールの作成	○	<b>コースパンフレットやPV等を作成。</b>	<b>プランの造成と併せて、ツール等も検討予定。</b>
	33	国内外への情報発信の強化	○	<b>YouTube等にて情報発信。</b>	<b>積極的な情報発信に努める。</b>